

善意の花かご

「ごちそうがうまいございました」

▽よつば会（菅井節子会長） 8名

＝ 舞踊訪問、バナナ7kg

▽五所川原甚句保存会（島村健二会長） 12名＝ 唄・三味線・舞踊

訪問、巾着袋50個
（以上2件くるみ園へ）

▽喜良市財産区を守る会（米谷勝昭代表） 17万4100円

▽井沼明子さん＝伊藤正規・芳子氏作品等535点



寄贈された作品は、立佞武多の館2階美術展示ギャラリーにて今年度10月～2月の日程で展示される予定です。

平成28年立佞武多ポスター決定



新しいポスターを発表する山崎会頭と寺田会長

3月22日、今年の立佞武多祭りをPRするポスターが発表されました。

同日に行われた最終審査会では、市長、寺田春一観光協会会長、山崎淳一商工会議所会頭が、市内の印刷業者4社が作成した12点から選ばれた最終候補3点を審査し、五所川原印刷株式会社（藤田雅俊代表取締役）が作成したポスターが選出されました。

新しいポスターは歴代3台の立佞武多に加え、太鼓など囃子方にも焦点が向けられている構図が特徴で、見る人へ祭りの壮さ・賑わいをPRできることが評価されました。

同ポスターは3500枚作成され、市内だけでなく北海道や首都圏にも張り出される予定で、市外に向けた情報発信に大きく貢献することが期待されます。

電気設備等の応急復旧に関する協定を締結しました



協定を結んだ電気工事業協同組合のみなさん

本協定は、市内で災害が発生した際に、指定避難所等の避難施設や防災の拠点となる施設において通電が不能となった場合の施設の電気設備等の復旧に関して、五所川原地区電気工事業協同組合と市が相互に協力し、迅速かつ的確に応急復旧活動を遂行するために必要な事項を定めたものです。

3月24日に行われた締結式の中で、島谷昭一同組合理事長は「市と一体となって地域のためにできることを考え、本協定の締結に至った。有事の際は迅速な復旧に努めたい」と協定締結までの経緯を話しました。今回新たに結ばれた協定を含め、市では26件の災害協定を結んでおり、今後も様々な災害への備えとして、民間事業者等との連携を進めていきます。

電気自動車の無償貸与を受けました



市長にキーを手渡す今井社長（左）

市は、日産自動車株式会社が電気自動車「e-NV200」を3年間にわたって無償貸与する「EVをもっと身近に！プロジェクト／電気自動車活用事例創発事業」の採択を受け、3月28日、出発式を行いました。

出発式には、日産サテライト弘前の今井高志代表取締役社長が来訪。市長は、「市は新エネルギーの活用を通じて持続可能なまちづくりを進めている。また、災害時には電源車として利用可能なため、防災力の向上にもつながる」と挨拶。今井社長は、「優れた環境性能や蓄電機能を有しており、エコロジーなまちづくりに大いに活用して欲しい」と述べました。

今回、貸与を受けた電気自動車は、公用車として環境負荷の軽減を図るほか、災害時の電源確保など、環境・防災の両面から有効に活用します。